

広報
9月号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 坂田 智
編集 広報部



「 京 都 の 紅 葉 」

時の視点

70周年記念座談会
(シリーズ全3回の第1回目) 2~5

時の話題

静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会 5~7
製本工組との古紙関係協議会 7~9
東京返本加工協同組合
第54回 通常総会開催
東京返本加工協同組合 事務局 9~10

就任の挨拶

副理事長 文京支部 上田晴健 10~11
理事 江墨支部 木内茂樹 11
理事 文京支部 渡邊繁光 11
直納部長 荒川支部 富澤進一 11~12
事業部長 千代田支部 工藤充彦 12
T P I C O 個人情報保護体制制度 12~13
直納部委員会及び納涼会 事務局 13

青年部ゴルフコンペ

文京支部 持永 毅 13~14

清風会研修会及び納涼会 事務局 14

支部便り

台東支部納涼会 台東支部 近藤達也 14

山手支部家族従業員慰安会
山手支部 篠田定義 14

文京支部納涼会 文京支部 大柴和男 15

組合員の広場

組合事業紹介・事業部 15

支部スケジュール

16

お知らせ

「10月会議」「古紙価格」「組織変更」「組合脱退」 16

会議概要〔6月・7月〕 17~22

編集後記 広報部副部長 宮内啓悟 22

広告 23~30

時の視点

70周年記念座談会

『この10年を振り返って』
シリーズ全3回の第1回目

座談会出席者：

美濃紙業(株) 近藤 勝、(株)ノボル紙業 近藤 昌和、
(株)グリーン 齋藤 浩二、(株)松井紙業 松井 宏隆
(有)坂田亮作商店 坂田 智

司会 / (株)丸十商店 高橋 宏明

2019年8月2日、於:大志満 椿壽 (有楽町店)



高橋：今回の70周年の座談会は、60周年からの10年を業界的・組合的に振り返って、5人の方にお話を聞きたいと思いますので、参加の皆様よろしくお願い致します。60周年は2008年、平成20年の時ですが、記念誌を発行させていただきました。正確には11年経ってしまいましたが、この10年間は、東日本大震災を含め、リーマン・ショック、輸出の変動もありました。組合的には輸出ケントから段ボール等、裾物も始めた経緯も含めて色々お話をさせていただきたいと思います。それでは、坂田理事長、挨拶も含めて一言お願い致します。



高橋 広報部長

坂田：今日はお忙しい中お集まりいただき誠に有難うございます。70周年ということで、私もこの様な座談会は初めて参加させていただくのですが、私は富澤理事長の時から25、26年間、理事になっていましたので、ずっと組合には参加させていただき、分かっているはずなのですが、何しろ記憶力が不安なものですので、何かの話題に触れれば、一言、二言お話しできると思います。今日は皆さん、よろしくお願い致します。



坂田 理事長

高橋：有難うございます。それでは、過去10年という形で、元理事長の近藤さん、10年の思い出、何かございますか。

近藤 (勝)：一杯ありますね。60年記念誌を作った時には私は既に理事長になっていました。亡くなられた皆川前理事長の話も載っていました。ただこの10年間、リーマン・ショックの後、ちょうど10年前、既に2008年ですから、もう紙の生産量とか回収量のピークは過ぎ、その後、ずっと下降してきている10年です。私のイメージとしては、この平成も含めて、ずっと厳し

い年月だったような気がします。

特にこの10年、東日本大震災などの大きな地震もありました。それに大雨、異常気象、災害の多かった10年だったような感じがします。

古紙の市況も、とにかくリーマン・ショック以降、急激に色々な意味で落ち込み、業界再編ということで、勿論製紙メーカーもそうですし、銀行などあらゆる業界が再編、再編の波にも揉まれてきた訳です。

紙も本当にペーパーレスがリーマン・ショックのすぐ後あたりから始まって、どんどん洋紙が減ってきました。板紙は資料を見ると、昔からそれほど生産量が変わっていない様です。古紙業界では抜き取り問題や、需給調整役となっていた輸出は、中国に振り回された10年と言うか、中国が高度経済成長に伴って、世界中の資源を買い集めたところから始まり、ここへきてやはり環境問題で資源の輸入を止めるという話が出て、昨日の話だと2020年末でゼロにすると言うのが撤回されたという話が出ている様ですが、それがまたいつ復活するか分からないという話です。いずれにしても中国から他のアジア諸国へ段々変わっていくということで、それは間違いないと思います。今、非常に難しい時期に来ています。ここ1～2年。本当に何が起るか分からない。

ここにきて、また米中で関税を掛け合い、日韓もホワイト国から除外するなど、きな臭いニュースばかりで、景気の方もこれからだいぶ良くない状況が来るのではないかと思いますので、引き続き、皆で組合協調をしてやっていかなければならないと思います。又、気持ちを新たにしたところです。



近藤（勝）元理事長

高橋：有難うございます。お話の中でこの10年、我々業界、組合を含めてですが、中国にかなり振り回されたという実感だと思います。製紙メーカー、問屋、集荷の方々は特にそうだと思います。集荷の視点からも、この10年で中国に振り回された部分もありますので。国内も様々な業者、過当競争も含めてあったと思います。その辺について、松井さんにお話していただけたらと思います。

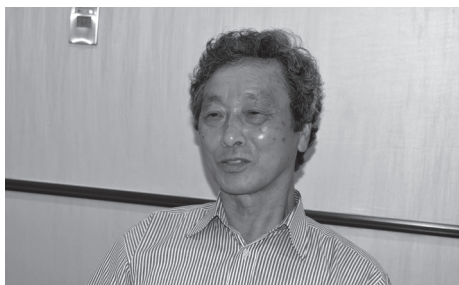
松井：24年ぐらい前をピークにだんだん発生量が落ちてきた。それで、衰退していく商売を考えると、ずっと昔、木箱が盛んに作られて、果物でも野菜でも何でも木箱でした。それが段ボール箱に変わったのです。今、木箱は棺桶ぐらいですね。

それで、あと身近ではリターナブル瓶、ビール瓶とか一升瓶とかいろいろ使える瓶、あれが全くなくなりまして、瓶屋さんでも衰退していきました。紙パックとか、缶とかペットボトルに変わって。

次に、時代の流れですが、今後、集荷業者、特に洋紙、上物関係の業者が、そういう道を歩むのかどうなるのか、分かりませんが、その様なことをちょっと心配しているような状況です。この10年位の間でも集荷業者は一所懸命努力して増やそうとしているのですが、それ以上のスピードで発生が落ちてくる、そんな状況ですね。

では、どの様にして集荷業者がやってきたかという、行政回収や、産廃、そして貸ビル業をやった人もいます。そんなことで、何とかやってきているのではないかと思います。この先も本当にどうなっていくのか、いつ歯止めが来るのか、かなり何年も前から、いつ歯止めになるのかと思いつつも、まだ歯止めが来ないです。

製品としては、段ボールとトイレトーパーだけは、需要がこれからもあると思うのですが、やはり洋紙関係、情報関係のものは落ちていくと思います。組合としましても情報を共有して、何とか組合員が減らないで行けるような何らかのリターンがある様に、少し前に専務理事にも提案したのですが、例えば外国人従業員の件など。やはり人手不足という世の中で、そういうことにも3年後ぐらいを見て、一つ頭に置いておかないと思っています。



松井元副理事長

高橋：あれは、ミャンマー人でしたか。

松井：どこの外国人か知らないですが。とにかく20～30万人、今回農業とか介護とか、建築とかに、全部で14業種が認められた。手を挙げた業者が認められた。我々業界は手を挙げなかった。

坂田：その話を聞いてから、全原連で早速それに取り組んで欲しいとお願いをして、今、経営革新委員会でアンケートを出しています。

松井：それから駐車監視員の方が駐車禁止を見

回っているじゃないですか。

高橋：取り締まりが。

松井：あれに免除されるのは運送業者だとかいう話がありました、我々も世の中のためにやっている仕事な訳ですから、何とか便乗できないかということも考えました。

高橋：これから色々と考えていかなければならないことが多くあるということで、組合としても取組んでいきたいと思います。副理事長の近藤昌和さん、一言お願い致します。

近藤（昌）：私は、この業界に入りまして約40年です。それで組合の理事になり、高橋広報部長と同時期に入り、何年位になりますか、15年位ですか。



近藤（昌）副理事長

高橋：皆川さんが理事長の時に。

近藤（昌）：ちょうど一緒だったのです。その位、長くやらせていただいています、私たち集荷も、先程も松井さんが言われた様に大変発生が少なくなって、弊社とか松井さんのところは意外と発生が安定しているところから取って、そこから、外注に振っていたので扱ひ量はあまり変わらなかったのですが、以前は。ですが、今は外注に振るまでの仕事がないような状況で、やはり極端に量が減っています。ですから、その何年ぐらい前ですか、7～8年前になるのか。リーマン・ショック後もまだ扱ひ量は安定していたのですが、ここへきて、ちょっと頑張らなければならないなという感じで

ちょっと焦りもあります。大きな製本・印刷会社の機械が止まる時もあるような状況ですので。そのところを、考えて我々も何か、やはりステップアップするような方法を考えなければと思っています。

日経に記事が出ていたのですが、ある製紙会社がニューエイジなどの洋紙の生産をストップする。造らないとなると、益々洋紙関係がだめになるので、そこでもやはり不安を感じます。そして、現在、また古紙の状況が大変悪いような状況です。リーマン・ショックの時も不安がありました、少し経って価格が戻ってよかったです、今回はかなりの不安材料ですので、それも含めて、本当に頑張らなければいけないと感じています。

また、組合でも、頑張るためにはどうしたらいいのか、と言う事を考えて、やっていかなければいけないと思っています。

高橋：有難うございます。今までのお話で、やはり紙がペーパーレス化により減少してきている。



広報11月号(全3回の第2回目)につづく・・・

時の話題

静岡県紙業協会家庭紙部会 との懇談会

[令和元年6月18日(火)午後2時00分～]
於) 富士工業技術支援センター

出席者： 静岡県紙業協会家庭紙部会 9名
(内、家庭紙メーカー7名)
静岡県製紙原料商業組合 6名
東京都製紙原料協同組合 7名

三団体代表挨拶

マスコー(株) 増田会長

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

ティッシュペーパーが店頭にないという事が話題になっております。国内のティッシュペーパーは国内の生産と海外からの輸入でまかっています。アジア中心の大手製紙会社からの輸入量が、昨年の暮れから急激に前年比で80%を切る量で減っています。国内の生産量については輸入で減った分を補う量を生産できていません。

昨年の8月以降、国内と輸入の合計量が100%を超えた事はありません。以上の事から国内の供給量が需要を満たしていない結果となっています。輸入量が減ったのは製品値上の思惑が原因で、日本の卸売業や小売業が輸入品を買わなくなった事にあります。しかし、現在は輸入の製品価格は落ち着いています。

トイレットペーパー出荷量は5月で103.4%となっており、かなりの高率で出荷されています。5月の生産量は関東が113.8%、静岡は102.3%となっています。4月の出荷量は関東が111.9%、静岡が112.8%で、生産量は関東が102%、静岡が108.4%となって

います。静岡ではGWや消費増税、岳南排水路の関係で生産量が増えています。

トイレットペーパーの単価ではパルプ品と再生紙とも3月と比べ5月は上昇しています。

坂田理事長 [東京都製紙原料協同組合]

各問屋で段ボール古紙の在庫が増えてきています。段ボール古紙の輸出価格は今年に入り6ヶ月続けて落ちているのに、リサイクル議連では、まだ段ボール古紙の輸出価格が高くて売れている認識があるので困惑しています。そんな中でも仕事は続けていかないといけないので、皆さまと力を合わせて頑張っていきたいと思います。

佐野専務理事 [静岡県製紙原料商業組合]

菊池理事長が欠席のため、本日は代役を務めます。何分、力不足ではありますがご協力をお願い致します。

裾物3品について

高木委員 [東京都製紙原料協同組合]

段ボールは国内メーカーの発注カット、中国の購入抑制により輸出が出来ず、大変厳しい状況となっています。

新聞は大手製紙工場の火災の影響で古紙の余剰が出来て在庫が積みあがり、発注が大幅にカットされました。又、輸出も思うように出来ない状況です。

雑誌は発生が少なく適正在庫となっています。

市況全般と家庭紙原料について

富澤直納部長 [東京都製紙原料協同組合]

産業古紙の発生は減少が止まらない状況が続いています。出版関係の不況が大きな原因となっています。又、商印関係も苦戦しております。

オフィス古紙について

高橋直納部員 [東京都製紙原料協同組合]

オフィス古紙の発生は減少しております。

ペーパーレス化の影響を受け、回収量も落ちていきます。そんな中、保険関係や銀行では紙を使用していますが、シュレッダーとして出ていくか、機密書類として出ていくかの違いになります。全体的には古紙が増えていく要因が見当たらない状況となっております。

静岡商組からの現状

[静岡県製紙原料商業組合]

発生は減少しています。印刷会社の仕事も減少しており、印刷会社では使用したい用紙が入ってこない状況にあります。印刷用紙が入ってこない事から、なかなか新しい仕事が受けられないでいます。

雑誌から良質の古紙を選別して、家庭紙メーカーへ供給したいと考えています。

各メーカーからのコメント

- ・発生が少ない中でも、発注した家庭紙原料が順調に入荷している。
- ・原料在庫は適正在庫を維持している。お盆も稼働予定だが、この状況が続くのではと考えられる。消費税対策で製品在庫も積み増ししている状況。
- ・5月連休前後の原料入荷は順調でした。
- ・全体的に出荷は好調です。

質疑応答 G：問屋 M：メーカー

M-Q：本の表紙などのスクリーンかす処理について。ゴミ処理で規制がかかっており対策を考えている。

G-A：紙のリサイクルは昔から行われていたが、廃プラのリサイクルが行われたのは遅かった。

製本や印刷から出る物は制限がかからないが、出版から出る物は処理が困難になる。元々は廃プラは本に傷がつかないように使われたが、今は種類が増え複雑になった。利用は燃料として使用している。中国への輸出が出来ない今は、焼却に廻すが焼却量やコストの問題がある。焼却の場合は首都圏では条例改正が必要で現在では難しい状況である。

M - Q：輸出と古紙の余剰について

G - A：段ボールは、各原料問屋で満杯の状況にある。対策としては中国以外の国への輸出を検討。全原連では、あらゆる方法を考え対策に当てる方向で検討中である。産業古紙は、もともと大量に輸出されていないので中国への輸出の影響を受けていない。

製本工組との古紙関係協議会

[令和元年7月24日(水)午後5時00分～]

於) 上野・精養軒

出席者： 東京都製本工業組合 11名
東京都製紙原料協同組合 12名

代表者挨拶

坂田理事長 [東京都製紙原料協同組合]

大田区で印刷会社を営んでいる友人が、土地を売却して他の広くて安い場所に移転したが、うまくいかず、あてが外れたと話していました。又、大手出版販売の子会社が、六本木に入場が有料の書店をオープンしました。そこは黒字経営だそうです。結果的にみると、付加価値がある物が人々から認められる時代になってきたようです。我々も仕事を行う際に、様々なアイデアを取り入れる大切さを痛感しました。

田中理事長 [東京都製本工業組合]

組合員である製本会社の廃業が増えています。製本業界では2020年に向けて新しいビジョンを作成中です。未来を予測してそれに対応する。

その要因のひとつとしてスマホがあります。

これからは紙媒体の将来を我々が自ら構想して、頑張っていく事が重要になってくると思われま



古紙全般に関する現況

高木直納委員 [東京都製紙原料協同組合]

今年に入り中国への古紙輸出量は更に減少しており、価格も大幅に下落しました。今年の中国製紙メーカーの古紙輸入枠は昨年1,700万トンから1,100万トン程度への減少が見込まれています。

特に段ボール古紙の輸出価格が大きく下落しております。日本の1月～5月の古紙輸出は前年比20%の減少となり、5月の国内メーカーの古紙消費は前年比3%の減少で、その内、新聞は前年比12%減少、段ボールは前年比1%減少と落ち込んでいます。今年の国内の古紙回収量、消費量も前年比でマイナスが見込まれています。国内外で古紙の需要の低下が続く中、古紙の余剰問題の対応が必要とされています。

古紙問屋では在庫を多く抱えている状況が続いています。

産業古紙に関する現況

富澤直納部長 [東京都製紙原料協同組合]

産業古紙の発生は年々減少傾向で厳しい状況にあります。製紙メーカーの動向では、2019年の紙の生産状況は前年比でマイナス3.3%です。ピーク時の2000年に比べると約19%減少しています。

品種別では新聞用紙が前年比でマイナス6.5%、色塗工印刷用紙が前年比でマイナス4%、塗工印

刷用紙が前年比でマイナス5%です。日本製紙連合会の今年6月の紙出荷量は前年同月比マイナス5.8%で、25ヶ月連続の減少となっております。減少幅が5%を超えるのは4年7ヶ月ぶりとなっております。このような状況で古紙の消費動向に若干、影響が出ており、印刷情報用紙、新聞用紙の減産が組まれています。その結果、古紙の配合が落ちていく事になり、産業古紙の色上が新聞用紙によく使われるが使用が減少している状況です。昨年、ある海外家庭紙メーカーが日本から撤退した事により、国内の家庭紙メーカーは、トイレットペーパーやティッシュペーパーの古紙物が好調となっております。産業古紙は余剰感がないので価格面での影響が受けにくいと予想されます。

集荷に関する現状

鈴木集荷部長 [東京都製紙原料協同組合]

集荷は発生が少なく大変厳しい状況。裾物を回収している集荷業者は、仕事量は確保されているが段ボールの古紙価格が下落して苦しんでおり、人手を確保するのにも苦しんでいます。

産業古紙を回収している集荷業者は、昨年、東京協組でアンケート調査した31社の回答を見ると、得意先の廃業と得意先の発生量の減少が不安材料となっています。集荷業者の将来は、先が見えない事が一番の苦しみの原因となっております。

気になる事では、アウトサイダー業者が集荷の取引先に、買取り価格を提示したチラシを配布して営業をかけている事です。

その場合は、今、取引している集荷業者に相談をしていただきたい。

製本業界の現状 [東京都製本工業組合]

書籍・雑誌・出版関係

1. 直近の新刊発行状況 (2019年1~5月)

①雑誌 (月刊・週刊誌合計)

発行銘柄数 2,654点 (▲3.0%)

推定発行部数 70,106万冊 (▲9.3%)

推定発行金額 409,280百万円 (▲6.7%)

平均単価 584円 (2.8%)

相変わらず振るわないが、若干の下げ止まりか。

②書籍の新刊 (重版は含まず)

新刊点数 29,713点 (▲1.6%)

新刊推定発行部数 12,015万冊 (▲5.5%)

新刊推定発行部金額 145,280百万円 (▲3.1%)

新刊平均単価 1,209円 (2.5%)

下げ幅が大きくなってきた。

2. トピックス

国内出版市場の縮小に伴い取次会社を中心とした出版物流が危機に瀕している。

今のままでは出版物流が破綻する、すなわち出版社のニーズに応じた製造やトラック輸送ができなくなるという危機感を共有し、下記の3課題について現在取次協会と定期協議を続けている。

①書籍配本通知の早期化

②雑誌発売日の平準化

③ (輸送・納品=本伝・仮伝) 伝票の差替えロスの改善

しかしながら取協とは問題認識を共有するところまで来たものの、これらは全て出版社の理解と協力が必要不可欠であり、本が売れない中で少しでも販売前リサーチや事前注文を取りたい、あるいは少しでも広告入稿に有利な日程で制作をしたいなど、版元側の利害とぶつかる事案が多く、

数十年に亘り続けてきた規制ルールやしがらみを変えていくのは容易ではない。

商業印刷製本関係

今年の3月・4月と紙不足があり、製本・印刷業界でも影響を受けました。又、引き続き製本会社の廃業が続いています。

平成から令和に向けての特需を見込んでいましたが、保険関係以外はほとんどなかった状況でした。仕事がある時と、仕事がない時の波が年々酷くなってきている事が全国的な悩みです。

今年も人材不足、事業継承についてのアンケートを採りました。昨年の人材についてのアンケートでは「70%が人を減らしたい」だったが、今

年は「40%が増やしたい、今のままでいいが45%、減らしたいが15%」と昨年と真逆の結果が出ています。事業継承では、昨年は「自分の代で終わりが70%だったが、今年は血縁重視が15%、有望な社員が24%、自分の代までが31%、迷っている24%、しないはいなかった」。アンケートの結果のように生き残りをかけて積極的に仕事に取り組んでいますので、商印は増えませんが、減るのは少なくなるような状況で頑張っていきたいと思っています。

紙製品製本関係

カレンダーについては、東京の業者は企業向けで大阪は売り物が主となっています。一般の組合員の中ではレストランのメニューを扱っている業者がいる。例年、この時期にメニュー変えをする店が多いが、今年は10月に消費増税が控えているため、まだ動きが少ない状況です。カレンダーも全体的には数は減少しています。

手帳関係

手帳は今が真っ盛りの時期です。来年の手帳は、8月24日から販売店の売場に並ぶ状況です。昨年は、平成が終わり年号が変わる際、新年号はいらないと言っていましたが、今年に入り令和を入れて欲しいと変わってしまいました。書店等では手帳の表紙は黒だけでなく、色物の品揃えをしています。又、今年に入り製菓関係の企業が手帳の制作を一斉に止めました。紙が非常に品薄であること、紙の値上げについても危惧している。



東京返本加工協同組合

第54回 通常総会開催

東京返本加工協同組合 事務局記

去る、2019年8月21日(水) 東京ドームホテル5階『初音』の間に於いて東京返本加工協同組合 第54回通常総会が16時30分から開催されました。

ご来賓として、出版共同流通株式会社 常務取締役所沢センター所長 中川秀行様にご出席を賜り、渡邊理事の司会により総会が開会されました。

審議に先立ち、藤川理事長より冒頭、暑い中ご参加いただいた御礼と皆様のご協力を賜り滞りなく総会を進行させていきたいとの挨拶がありました。

続いて司会者より、組合総数18名、過半数を超える出席であり、総会が成立した旨の報告がされました。議長選出では、「司会者一任」と会場からの声により藤川理事長が議長に選任され審議に入りました。



総会では、第1号議案～第8号議案（①事業報告、②決算報告、③剰余金処分案、④事業計画案、⑤収支予算案、⑥借入金残高及び債務保証最高限度額、⑦加工手数料、経費の賦課、加入手数料、⑧役員報酬の案件）が提案され、全案件について議長並びに各理事より上程され、各議案とも全会一致にて原案通りに可決されました。

事業報告では、出版市況のダウントレンド影響で雑誌プレス加工量 前年比87.9%、組合直

扱い分 前年比91.4%と、前年を下回る扱い量となりました。取次会社様の物流協業への取組状況等も報告されています。

全ての議事終了後、ご来賓を代表して出版共同流通株式会社常務取締役所沢センター所長 中川秀行様より祝意と出版物の現況やサプライチェーン改革等について紹介いただきご挨拶を賜りました。

閉会の辞では、司会より進行協力への感謝が述べられ閉会致しました。



総会に引き続き開催された懇親会は、会場を42階『シリウス』の間に移し総勢46名にご参加をいただき、廣田理事の司会進行で総会懇親会が開催されました。

開会に当たって、藤川理事長より開会挨拶がなされ、厳しい状況の中ですが業界一体となって協力していきたいと挨拶があり、引き続きご来賓を代表して、出版共同流通株式会社 代表取締役会長

高田誠様、東京都製紙原料協同組合 理事長 坂田智様よりご祝辞を賜り、出版協同流通株式会社 代表取締役社長 北林誉様の乾杯の音頭で開宴となりました。



宴中、出版共同流通株式会社様、東京都製紙原料協同組合様、西川会計様、東京都中小企業団体中央会様よりご出席のご来賓の皆様のご紹介とご挨拶がありました。

余興として、「全国お取り寄せ名品」納涼ビンゴ大会が行われ、出席者の中から大勢の方々が当選され、満面の笑顔で商品を受け取られ、皆様から盛大な拍手がおくられていました。

立食形式の会場では、各テーブルでいくつもの輪ができ、楽しい情報交換の場となりましたが、宴たけなわの中、齋藤副理事長の中締めの挨拶をもって19時50分にお開きとなりました。

お忙しい中、総会ならびに懇親会にご出席を賜りました皆様、誠にありがとうございました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

副理事長就任の挨拶



文京支部 上田晴健

総会において坂田理事長が再任され、この度、副理事長に就任させていただきました上田でございます。若輩者ではございますが真摯に組合運営及び組合員各社様の発展に寄与できるよう取り組む所存でございます。

現在当業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。古紙全般においては、輸出の停滞、洋紙の需要減、冷夏による段ボールの需要減など古紙の需要の停滞が起きております。

当組合の主力である産業古紙におきましては、裾物三品に比べ比較的安定しておりますが予断を許す状況ではございません。発生面におきましては

段ボール古紙以外の発生は大幅減となっており、扱いの減少も大きな課題です。集直一体をより強固なものとし協調と対話でこの難局を乗り越えてまいりたいと思っております。

理事就任の挨拶



江墨支部 木内茂樹

この度、理事を拝任いたしました江墨支部 株式会社 墨田リバースの木内茂樹と申します。

改めまして宜しくお願ひ致します。

現在 古紙価格の下落の嵐が吹き荒れ併せてペーパーレス時代となった昨今、どの様に業界全体を上向きにさせていくのか 私達が一丸となり様々な情報交換を行いながら新たな方向を探っていかねばならないと感じております。

微力ながら東京都製紙原料協同組合理事として古紙業界発展の為、頑張ってお参りたいと思ひます。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

理事就任の挨拶



文京支部 渡邊繁光

この度、東京製紙原料協同組合の理事に就任致しました、東日紙商株式会社の渡邊と申します。

古紙業界を引っ張って来て下さった先輩方に、この場を借りて感謝を申し上げます。

組合に関しましては、平成13年の青年部活動への参加から始まります。当時の青年部長は現理事長の坂田智様でした。右も左もわからない私を優しく導いていただいた坂田様には今でも感謝の気持ちでいっぱいです。この度再び坂田理事長の下、理事に就任したことに感慨深い気持ちでおります。

私も入社して早30年、新人と言う言葉が久しぶりで、新鮮な気持ちでおります。古紙業界の飛躍に少しでもお力になれるよう、日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

*新理事は全員で4名就任しましたが、掲載上の関係で他の新理事は次回の掲載とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

直納部長就任の挨拶



荒川支部 富澤進一

今期より直納部長を拝命いたしました(株)富澤の富澤でございます。

内需型構造の中、永く営まれてきた製紙原料商ですが、21世紀に入り古紙を取り巻く環境は大きく様変わりし、現在では古紙は国際商品となり国内外の需要家に支えられる産業になってまいりました。多くの諸先輩方が築いてこられた歴史ある当組合はインプット部門を担う集荷部とアウトプット部門を担う直納部が一体となり、双方の利

害得失を一元的に議論できる世界的にも稀に見る団体であると思います。諸先輩方のご指導を頂きながらグローバルな環境におかれた古紙業界のポジションを直納部の視線で捉えた正確な情報を提供し「集めるプロ」と「供給のプロ」がより一層強固な関係となって業界の発展と向上にお役にたてるよう努めてまいります。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業部長就任の挨拶



千代田支部 工藤充彦

今年度より業務部長を仰せつかりました株式会社起多邑の工藤です。

業務部長に推薦いただいた際には活動内容をよく把握しておりませんでしたのでお断りしようかとも思いましたが、前任の山口さんから後押しをいただきお引き受けする事に致しました。

業務部では組合内での共同購入事業（ETCカード、ガソリンカード等）や保険関係等の窓口になることが主だった活動になります。私も活動内容を勉強し組合員の皆様方の得になるような情報を色々と発信して参りますのでより大勢の方々に利用して頂けることを願います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

*新業務部長は全員で6名就任しましたが、掲載上の関係で他の新業務部長は次回の掲載とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

TPICO 個人情報保護体制制度 TPICO(ティピコ)とは

4年前、個人情報保護制度が施行され、個人情報を取り扱うすべての事業者は個人情報保護のための組織体制の構築が急務となっております。

地方自治体の個人情報保護条例は個人情報の取扱い件数に関わらず、違反に対しては行政指導の対象としています。製紙原料業界においても保護体制が必ず取引条件とされてきています。（出版社、印刷・製本会社からの要求など）

対策として自社の保護体制を示す必要がありますが、言葉やこれまでの実績だけでは、なかなか発注元に安心・納得して頂くことができなくなってきています。

ルールの策定については、自社で決定し保護体制の自己宣言をするだけでは、その有効性を対外的に示す場合、客観性に欠けます。そのためプライバシーマークのように第三者認定制度を活用することになりますが、これらの取得には労力と費用面でかなりの負担となります。

このような状況を踏まえ、当組合では組合員の皆様の個人情報保護体制の客観性を補完するために、組合独自の「個人情報保護体制制度」を導入し支援しております。

**tokyokyouso for privacy information
conservation organization**

T（東京協組） **P**（プライバシー・個人）

I（インフォメーション・情報）

C（コンサベーション・管理）

O（オーガニゼーション・協会）

内容は「東京協組 個人情報管理協会」となります。



認定条件ほか

(1) 組合主催の「認定取得セミナー」への参加
年1回

- ・講師：(株) コンサルティング・オフィス
- ・研修テキスト、サンプル規定集、CD-R
- ・認定講習会は6時間

(2) 認定講習会での支援内容と認定条件

- ・個人情報保護方針の策定
- ・個人情報保護方針についての社員教育の実施
- ・従業員との機密保持誓約書の締結
- ・委託先との機密保持契約書の締結
- ・規定類等の整備
 - ①個人情報保護管理規定
 - ②PC管理規定
 - ③委託先管理規定
 - ④入退室管理規定
 - ⑤苦情相談取扱い規定 など

令和元年 資格取得者・維持更新研修会 (対象34社)

9月19日(木) 午後4時30分～6時30分
又は10月9日(水) 午後6時～8時のどちらか
を受講(2時間) 場所：組合会議室

平成31年度資格取得者 2社

台東支部 : (有) 北信紙業
城北支部 : (株) 小黒商店

直納部委員会及び納涼会

東京都製紙原料協同組合 事務局記

日時：令和元年8月28日(水)

午後5時～直納部委員会

午後5時30分～納涼会

場所：根岸「宮川」 参加者：28名

昨年同様、根岸「宮川」に於いて直納部委員会

と納涼会が開催されました。

午後5時から直納部委員会が始まりました。

富澤直納部長の挨拶の後、各商社から輸出市況の説明がありました。特に中国への厳しい輸出の現状についての説明がありました。

その後は、ご来賓参加の近藤(昌)副理事長が乾杯のご発声をして納涼会がスタート致しました。宴席はいつものように大変に盛り上がり、和やかな雰囲気での閉会となりました。

青年部ゴルフコンペ

文京支部 持永 毅

6月25日鬼怒川カントリークラブにて青年部のゴルフコンペが開催されました。本年度の総会をもって、無事任期を終えられました工藤部長・宮内幹事長の慰労会も兼ね、盛大に開催されました。



今回の開催では、コンペ終了後にホテル三日月での宴会・宿泊も用意されていました。残念ながら宿泊が出来ない方、逆にコンペに参加できず宴会から合流の方もいましたが、2日間に渡り大変有意義な時間となりました。

コンペは3組11名の参加となりましたが、当日は晴天で日差しは強かったものの湿度が低く、無風状態でベストなコンディションでした。結果は以下のようになりました。

優勝 持永 毅 文京支部
 準優勝 工藤 充彦 千代田支部
 3位 田中 淳一 足立支部

清風会研修会及び納涼会

東京都製紙原料協同組合 事務局記

清風会研修会及び納涼会は、昨年に引き続き上野・東天紅で開催されました。

研修会は当組合の経理・会計関係を担当している杉山会計事務所の杉山靖彦税理士にお願いしました。

研修は昨年末に西川会計事務所より「働き方改革」の研修を受けましたが、今回は「経営者視点の働き方改革とその他の関連事項」でした。

受講者のほとんどが経営者側の立場ですので、参考になる話など興味を持ちながら、理事の方々は講義を聞き入っていました。

研修会終了後は、杉山税理士にもご参加頂き納涼会を開催しました。

いつものように総会後の慰労を兼ね、お酒に料理に会話にと楽しい時間を過ごしました。又、恒例のカラオケでは、参加者が自慢の喉を披露していました。

支 部 便 り

台東支部 納涼会を開催

台東支部 近藤達也

令和元年7月22日(月) 寿司「山ざき」にて台東支部の納涼会を開催いたしました。

本部から斎藤理事をお招きし、9名で行いました。市況報告の後、近藤支部長の乾杯で会いははじまりました。

店主、女将の対応もあたたかく、落ち着いた雰囲気個室でコース料理を堪能しました。

最後に近藤國宏さんの締めで閉会となりました。



山手支部家族従業員慰安会を開催

山手支部 篠田定義

8月3日、椿山荘において家族従業員慰安会を開催いたしました。

当日は大変暑く外に出かけることが辛くなるような天気でしたが、50人程の参加者で行いました。

最初に山手支部支部長の鈴木様のご挨拶で始まりました。

美味しい料理と飲み物とそして皆様が、楽しみにしていた商品券などが当たるビンゴゲームで大いに盛り上がり、あっという間に2時間の宴会時間が過ぎました。

最後は理事の徳永様に3本締めで締めいただき閉会いたしました。

参加ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



文京支部 納涼会を開催

文京支部 大柴和男

文京支部納涼会を8月19日(月)池袋サンシャインシティの近くの割烹「御法」にて開催いたしました。今回の参加者は7社12名でした。

美味しい料理と焼酎をいただき、2時間があっという間に過ぎました。

中締めを(株)グリーンの鈴木氏にお願い致しました。美味しいウィンナー入りパンをお土産に頂き帰路につきました。

参加者の皆様、ありがとうございました。

組合員の広場

組合事業紹介・事業部

(都市近代化事業協同組合の事業について)

ETCカード

指定の高速道路が割引運行出来ます。又、**首都高速**が割引で利用出来る事になりました。

(ご利用の場合は新しいカード作成が必要です)

ポイント可の高速道路でポイントが貯まると、その**ポイント分が無料走行**で使えます。

①「ガソリンカードのご利用」について ご存知ですか？

組合では、皆様のお仕事に少しでもお役にたてるよう色々な事業に取り組んでおります。

このところガソリン価格が高騰しております。

組合では、皆さまがお使いになっているトラックや乗用車のガソリン代を少しでも安く購入できる事業があります。

都市近代化事業協同組合が行っている事業を通じてガソリンを購入されますと・・・**全国平均と比**

べ

ハイオク・レギュラーガソリンが約3円、軽油が約9円ほど安く購入できます。

(その時の価格変動により大きく値動きがある事がありますが、あらかじめご了承ください)

専用のカードを作り、該当するスタンドで使用すると自動的に割引料金でカード決済されます。

*ETCカード、ガソリンカードのいずれも、東京都製紙原料協同組合に加入されている組合員の皆さまの特権です。

ご希望、ご質問は組合事務局までご連絡ください。

共同購入についてのお知らせ

プレス機のオイル交換について

共同購入委員会

組合を通じて通常より格安での交換が可能となります。

過去に実施した事業所では、処理のスピードや細かな対応について高い評判を頂いております。

見積もりを取って比較した結果を見て頂けると分かりますが、**1,000リッターのオイル交換で約5万円近い差が出ております。**

どうぞこの機会に是非、ご利用くださいますようお願い致します。

手続きは簡単です。組合にご連絡いただき「プレス機オイル交換申込書」を受取り、必要事項をご記入し組合宛てにお送り下さい。交換時のレートは2ヶ月に1度変更されますので実施時にレートをご確認願います。尚、給油条件により追加金が発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

組合事業及び共同購入連絡先

東京都製紙原料協同組合

電話 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880

♪ことわざミニ知識♪

「鬼の目にも涙」

普段は鬼のような無慈悲な人であっても、時には情け深い心を起こして涙を流す事がある。

支部スケジュール

千代田支部

支部会予定は未定

文京支部

支部会 10月18日(金) すし常大塚

支部会 11月18日(月) 東明飯店(池袋)

忘年会 12月18日(水) 場所未定

台東支部

忘年会 11月 日にち場所未定

荒川支部

支部会 10月10日(木)

足立支部

支部会予定は未定

山手支部

支部会 10月19日(土) 鮎やなぎ

支部会 11月19日(火) 鮎やなぎ

忘年会 12月 日にち場所未定

城南支部

支部会予定は未定

江墨支部

支部会予定は未定

城北支部

支部会 10月・12月は休会

忘年会 11月28日(木) 赤羽

お知らせ

[10月会議・催事予定]

10月 3日(木) 常任理事会 (pm4:30~)

理事会 (pm5:30~) 組合会議室

10月 9日(水) T P I C O更新維持研修会

(pm6:00~8:00) 組合会議室

10月13日(日)~17日(木)直納部主催・海外研修

ベトナム・ハノイ「コアレックス」の工場視察

10月23日(水) センター関東地区委員会

(pm2:00) センター会議室

10月24日(木) 清風会 「美浦ゴルフ倶楽部」

10月28日(月) センター業務委員会(pm2:15~)

” 全原連役員会 (pm3:15~)

センター会議室

[古紙価格]

[東資協の古紙4品の標準売値]

令和元年8月9日現在

新聞 8円~11円(上値下降)

雑誌 4円~6円(上値下降)

段ボール 6円~9円(上値下値下降)

色上(並) -

[組織変更(代表者変更)]

・城北支部: (株)桂紙業 代表 川上 善男

→ 新代表 山 俊彦(代表取締役社長)

令和元年7月より

[組合脱退]

江墨支部: ビルサービス(株)(代表者 赤澤泰正)

廃業の為 令和元年7月31日付

会議概要 [6月・7月]

6月度定例理事会

[令和元年6月5日(水)]於製紙原料会館・会議室
出席理事23名・監事0名

理事長挨拶

総会が皆様のご協力により無事に終了しまして、
ありがとうございました。本日は総会が終わり始
めての理事会となります。

市況が不透明な中で不安をかかえている方が多い
と思いますが、各方面から情報を得て、この難局
を乗り越えていって頂きたいと思います。

[各部報告]

[総務部] 総会にご協力いただきありがとうございます。
います。

組合会館2階テナント「Net Wisdom
(株)」が9月迄で契約解除の予定となっていま
す。どなたか、お知り合いでテナント入居を探し
ている方がいましたら連絡して下さい。

[直納部]

6月度の共販輸出は、上物及び裾物（段ボール・
ミックスとも）に関して、輸出業者3社共に「市
況が不透明で対応が厳しい事、販売先を確保でき
ない」との理由から入札辞退の申し出があり入札
不可となりました。

輸出事況について：

段ボール：中国政府の輸出ライセンス発行量の削
減により、中国メーカーは米国品を優先的に発注
していることと、秋口の需要期を見越して一気に
使用せず温存させている。その為、各商社はオ
ファーが可能な中国メーカー及び東南アジアメ
ーカー向けで成約の努力をしている。また欧米品と
の競合も相まって価格の下落が止まる気配がな
い。中国向けは、直近では中国メーカー3社しか

オファーする事が出来ず、日本からのオファーが
殺到している。

新聞：中国向けは華泰紙業しか購買を表明してお
らず、同社へのオファーが殺到している。新聞古
紙市況は比較的安定していたが、急速に下落し始
め成約も困難な状況となっている。更なる下落は
避けられない見通し。

雑誌：購入を継続している中国メーカーは、ナイ
ンドラゴン（中南）のみとなっている。同社も6
月からは日本からの輸入を削減すると表明してお
り、更なる下落が考えられる。インドネシアのA
P Pが7月から本格購買を行うが、日本品と安い
欧米品の価格差をどう埋めていくかによって、今
後の市況も左右される。

[上物]

5月の産業古紙の発生は低調に推移した。家庭紙
メーカーは連休中に在庫の積み増しをした。

[新聞・雑誌・段ボール] 新聞古紙の発生は引き
続き低調。メーカーは今後、控えているSDを考
慮しての発注調整となっており荷余り感がある。
先行きは不透明であり弱含みで継続。

2019年4月・新聞発行部数：前年同月比 読
売新聞 95.1%、朝日新聞 93.8%、日経
新聞 95.1%

折り込みチラシは3月まで100%を切っていま
す。

雑誌古紙の発生は低調。しかし、需給は上台紙や
返本の他、雑古紙の入荷が順調な事もあり弱含み。
段ボール古紙の発生は堅調。国内メーカーは製品
輸出減による製品在庫増の影響と上期にSDを控
えているため古紙購入量を調整。輸出はオファー
が少ない上に国内価格を大きく下回り弱含みで推
移。各問屋とも置場が一杯。

[オフィス系古紙] 発生は落ち着いている。販売
価格が下がってきており先行きは不安。

[返本] 残本の発生は前年対比81%。最近では

小さな取次店が1社、廃業となっている。

[集荷部]

GW明けの荷動きが悪い。発生が良くないので、集荷の段階であまり利幅が取れない事が多い。

[広報部]

総会号を準備中ですが、一部の原稿提出が遅れているので早急に提出してほしい。

9月号で副理事長、新業務部長、新理事の挨拶を掲載予定していますので、今から準備をお願いします。

今年に組合名簿を改定します。その際、協賛広告の募集をしますのでよろしくお願い致します。詳しくは7月理事会でお伝えします。

[事業部]

引き続き組合に収益の上がる事業を見つけていきたいと思えます。

[青年部]

総会で廣田部長、工藤（嗣）副部長、田中副部長、近藤（英）幹事長が就任しました。

尚、今後も青年部の副部長及び幹事長は理事でなくてもよい事とする。本日の理事会で承認を得た。現在、7月7日の組合ゴルフコンペのお手伝いをしています。

6月18日青年部部会を開催予定。

[支部報告]

訃報：荒川支部（株）土屋商店の先代の社長が先月亡くなりました。密葬という事で報告がなかったのが今、お知らせします。

[審議・検討・報告事項]

1. 協議事項

- (1) 新業務部長6名にそれぞれ理事長より委嘱状を授与した。尚、工藤（充）事業部長は欠席のため郵送。
- (2) 新理事「渡邊理事、近藤（達）理事、徳永理事、木内理事」4名と青年部 近藤（英）幹事長を紹介した。

- (3) 日程決め： 製本工組との古紙関係協議会（pm5:00～）懇親会（pm6:00～）
上野・精養軒・・・7/24（水）

直納部委員会及び納涼会日程：

根岸「宮川亭」 8月28日（水）

- (4) 7月3日（水）清風会講演会の件：
候補案・・・「経営者視点の働き方改革と〇〇」 講師：杉山会計事務所 杉山靖彦先生

- (5) 直納部主催 海外研修： 場所と日程
10月中旬 場所は直納部で検討

- (6) 城北支部（株）久保田商店 賦課金未納について（1月～5月の5ヶ月分）取引のある組合員を探し連絡を取る。

- (7) 理事会前に中央電力より「電力消費についての説明」があった。

- (8) 組合ゴルフコンペ参加の案内が配布された。

2. 組織変更（代表者変更）

足立支部：（株）新井商店 代表 新井 勝夫
→ 変更後 ・ 代表 新井 重樹

3. 訃報（事後報告）

江墨支部：製紙原料サワムラ商店 代表 澤村宣吉様のご尊父 澤村登様（享年83）が令和元年5月19日に逝去。

・通夜 5月24日（金）

・告別式 5月25日（土）に執り行われました。

古紙センター業務委員会

[令和元年6月12日（水）] pm2:15～

於）古紙センター会議室

- [1] 定時評議会の報告について
- [2] 臨時理事会の報告について
- [3] 中国の古紙輸入の削減、古紙消費増について
- [4] アジア各国の古紙輸入
- [5] 中国の古紙パルプ輸出

[6] 古紙の需要・市況動向について

*ページ数の関係で割愛させていただきます。

古紙センター関東地区委員会

[令和元年6月17日(月)] pm 2:00～
於) 古紙センター会議室

[需要動向] 19/5月 単位トン、
()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	45,706(90.1%)
	出荷	44,137(85.0%)
	在庫	11,341(25.7%)
[雑誌]	仕入	44,374(92.1%)
	出荷	45,069(88.8%)
	在庫	12,077(26.8%)
[ボール]	仕入	142,547(97.7%)
	出荷	132,483(91.7%)
	在庫	35,078(26.5%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	160,967(95.6%)
	消費	160,982(84.4%)
	在庫	131,439(81.6%)
[雑誌]	入荷	124,766(100.9%)
	消費	125,279(105.7%)
	在庫	50,265(40.1%)
[段ボール]	入荷	322,850(102.6%)
	消費	321,616(101.3%)
	在庫	137,867(42.9%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・段ボール]

- ・32社報告の5月古紙仕入は前月比、前年比で3品ともに減少した。在庫は前月比で段ボール・新聞は増加し、雑誌は若干減少した。3品とも高い在庫率となっている。
- ・三紙会報告の5月古紙仕入は前月比で3品とも

に減少した。前年比では段ボール・新聞は減少し、雑誌は横ばいとなった。6月の仕入れは前年比で段ボール・雑誌は横ばい、新聞は減少する見通しである。

[上物古紙]

- ・5月の上物古紙在庫は、家庭紙向けケント、DIP向けケントを除き前年比で減少した。体感として報告数字と違い在庫が積みあがっている。在庫は、近年、7・8月の休転前にはランニング状態が続いていたが、秋に向けて余裕を持った在庫運用が出来そうである。

[メーカー側コメント]

- ・5月の新聞の発注は一部休転を行ったメーカーもあり減少、入荷は計画通り若しくは順調、消費は休転を行ったメーカーもあり減少し、在庫は増加した。6月の発注は減少、入荷は計画通り、消費は計画通りから微増で、在庫は減少する見通しである。7月の発注は休転するメーカーもあり、減少傾向である。
- ・5月の雑誌の発注は微減、入荷は計画通り、消費は微減で、在庫は減少した。6月の発注は微減、入荷は計画通り、消費は概ね計画通り、在庫は微増となる見通しである。
- ・5月の段ボールの発注は減少若しくは横ばい、入荷は順調から微増、消費は休転のメーカーもありやや低調、在庫は前月比で増加した。6月の発注は横ばいから減少、入荷は好調、消費は低調気味で、在庫は前月比で増加する見通しである。

7月度定例理事会

[令和元年7月3日(水)]於)製紙原料会館・会議室
出席理事21名・監事0名

理事長挨拶

現在、市況が大変な時ではありますが頑張って苦

境を乗り越えていきましょう。本日は理事会の後、清風会の研修会、納涼会と続きますのでよろしくお願ひ致します。

[各部報告]

[直納部]

6月度の共販輸出は、上物及び裾物（段ボール・ミックスとも）に関して、輸出業者3社共に「市況が不透明で対応が厳しいので、販売先を確保できない」との理由から入札辞退の申し出があり入札不可となりました。

輸出市況について：

段ボール：中国向けの契約は限られており、その限られたメーカー及び東南アジアに対し日米欧からのオファーが集中し価格の下落が止まらない。中国においては次回のまとまった輸入ライセンス（IL）の発行が7月中旬に予定されており市況の回復が期待されるが、年末需要に向けILの使用を温存する方策に変わりなく、大幅に回復することは考え難い。依然として市況は低位維持することが予想される。

新聞：中国向けは華泰紙業しか購買を表明しておらず、同社へのオファーが殺到している。同社は毎月末に翌月船積分をまとめて契約しているが、7月積の契約は\$110～\$130で決定する見込みで、前月比で大幅下落となる。

雑誌：中国メーカーで輸入を継続しているのは、ナインドラゴン（中南）のみであるが、6月積の日本からの輸出は大幅に数量を制限しており、且つ価格も急激に下げてきている。中南は7月積も数量制限を行うと表明しており、日本からの輸出は台湾、インドネシア、韓国に振り向ける必要があり、米国品との競争による更なる価格下落が考えられる。

[上物]

産業古紙は先月と変わらず発生が低調に推移した。家庭紙メーカーは原料在庫をある程度持って

いるので、古紙問屋は岳排が終わるまで厳しい状況が続き、その後、タイトになるのではないかと予想される。

[新聞・雑誌・段ボール] 新聞・雑誌の発生は低調。新聞古紙の消費は伸びていない。

[集荷部]

相変わらず発生は少ない。裾物の不況の影響で産業古紙の集荷の際、逆有償が出てくるのではないかと心配しており、先行き不透明な状況です。

[広報部]

6月24日に広報9月号に向けての委員会を開催しました。「時の視点」では9月号と11月号に亘り、70周年記念座談会の内容を掲載予定です。座談会は8月2日銀座の会場で、司会を含めた6名で過去10年を振り返った話を進めていきます。「時の話題」では新業務部長の挨拶や新理事の挨拶を掲載予定です。該当の方は原稿の提出を8月末までにお願ひ致します。

[青年部]

6月25・26日鬼怒川カントリークラブ&鬼怒川ホテル三日月で懇親ゴルフ旅行を開催しました。

7月17日に部会を開催し、8月20日の青年部納涼会について詳細を決める予定です。

[支部報告]

訃報：荒川支部（株）土屋商店の先代の社長が先月亡くなりました。密葬という事で報告がなかったのが今、お知らせします。

[審議・検討・報告事項]

- (9) 9月の東資協との懇談会の日程決めについて
 第1希望 — 9/12(木)、
 第2希望 — 9/17(火)
- (10) T P I C O説明会・認定講習会・維持更新研修会について・・・

・説明会・・・8月6日(火)午後6時～午後7時
 組合会議室

- ・認定講習会・・・8月20日(火)午後6時～9時及び 8月27日(火)午後6時～午後9時 組合会議室
- ・更新研修会(34社が対象) ①9月19日(木)午後4時30分～午後7時30分
又は②10月9日(水)午後6時～午後9時のどちらかに参加 組合会議室
- (11) 組合総合名簿の作成と協賛広告依頼の件は、広告継続依頼と新規広告、スケジュールを確認した。
- (12) 直納部主催・海外研修(案): 期間10月13日(日)～16日(水) 17日朝、成田着 3泊5日 ベトナム(ハノイ)
現在、旅行業者2社による相見積もりを取り検討中。
- (13) パソコンに関するアンケート結果が出たが、アンケート提出が50%弱なので引き続き未提出者にアンケートを提出してもらう事とした。
- (14) 組織変更(代表者変更)
・城北支部: (株)桂紙業 代表 川上 善男
→ 新代表 山 俊彦(代表取締役社長)
令和元年7月より

古紙センター関東地区委員会

[令和元年7月31日(水)] pm 4:00～
於) 古紙センター会議室

[需要動向] 19/6月 単位トン、
()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	43,271(88.2%)
	出荷	41,573(83.1%)
	在庫	13,039(31.4%)
[雑誌]	仕入	39,702(90.6%)
	出荷	41,630(86.2%)

	在庫	10,149(24.4%)
[ボール]	仕入	139,892(98.0%)
	出荷	143,852(95.7%)
	在庫	31,118(21.6%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	144,190(94.2%)
	消費	154,663(86.3%)
	在庫	120,794(78.1%)
[雑誌]	入荷	121,718(100.2%)
	消費	130,040(103.9%)
	在庫	41,151(31.6%)
[段ボール]	入荷	327,566(103.6%)
	消費	334,808(97.7%)
	在庫	130,625(39.0%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・段ボール]

- ・32社報告の6月古紙仕入は前月比、前年比で3品ともに減少した。在庫は前月比で段ボール・雑誌は減少し、前年比では3品ともに増加した。
- ・三紙会報告の6月古紙仕入は前月比、前年比で3品ともに減少した。7月の仕入れは前年比で雑誌は横ばい、段ボール・新聞は減少する見通しである。

[上物古紙]

- ・6月の上物古紙在庫は、家庭紙向けケント・色上、DIP向けケント・色上が前年比で減少した。岳排の影響もあり、在庫は増加する見込みであるが印刷・出版関係の機会設備が向上していることから落ち落とし等で発生する古紙等は年々減少傾向にある。

[メーカー側コメント]

- ・6月の新聞の発注は微減、入荷・消費は概ね計画通りで、在庫は減少した。7月の発注は概ね横ばいから一部減少、入荷・消費は概ね計画通り、在庫は減少する見通しである。8月の発注は横ばいから一部メーカーでは微増となる見通

しである。

- ・6月の雑誌の発注は減少、入荷は計画通り、消費は減少し、在庫は微減となった。7月の発注は横ばいから休転の影響もあり一部減少、入荷は計画通り、消費は微減、在庫は横ばいから一部で増加する見通しである。8月の発注は横ばいから一部増加の見通しである。
- ・6月の段ボールの発注は減少若しくは横ばい、入荷は順調、消費は低調で、在庫は横ばいから減少となった。7月の発注は横ばいから減少、入荷は順調若しくは休転のため荷止めを行うメーカーもあった。消費は低調気味で、在庫は前月比で横ばいの見通しである。8月の発注は休転等のため減少若しくは横ばいとなる見通しである。

古紙センター業務委員会

[令和元年8月1日(木)] pm2:15～

於) 古紙センター会議室

- [1] 家庭紙委員会について
- [2] 臨時理事会の報告について
- [3] 紙リサイクルセミナーについて
- [4] 第8回日中古紙セミナーについて
- [5] 集団回収実施団体への感謝状贈呈について
(静岡地区委員会推薦)
- [6] センター広報事業の活動について
- [7] 新規感熱性発泡紙の問題
- [8] 諸外国における古紙輸出動向
- [9] 米国調査について
- [10] 2019年7月～12月段ボール・新聞・雑誌の消費計画について
※最終ページ参照
- [11] 古紙の需要・市況動向について

*ページ数の関係で割愛させていただきます。

編集後記

広報部副部長 宮内啓悟

8月2日に座談会『この10年を振り返って』に参加させて頂きました。

この10年間の組合、問屋、集荷、製紙メーカー、その他色々なお話を聞き、10年間でいろんな事があったと思い出しながら、楽しい時間を過ごさせて頂きました。

座談会の内容は、この9月号と11月号と3月号の3回に分けて広報誌に掲載するので、お楽しみに！

さて、8月も過ぎ暑気払い、納涼会も終わったと思いますが皆さん飲み過ぎてはいませんか？

今年も私は8月に健康診断をして来ました。まだ結果は出ていないのですが、健康診断の2日前に飲んだお酒が抜けきらなく、いわゆる3日酔いまで引きずってしまい最悪の状態健康診断を受けてしまいました。

結果が怖いです(-_-;) 皆さんも飲み過ぎにはお気を付け下さい。